

子安地蔵（パンフレット）

撰原峠の丘陵の茶畑の裏には、和束町で古くから旅の安全と安産の御利益があると信じられている地蔵像が祀られています。地蔵菩薩は旅人や子どもの守り神として信仰が深く、子安地蔵は安産に特に関係のある菩薩尊です。光背の右下と左下には「実慶僧」の銘と、1267 年「釈迦如来滅後 二千余歳」の作と記されています。歴史上の人物であるシッダールタ・ゴータマの入滅から数えて彫像の年代を算定する珍しい表示例は、近くにある弥勒磨崖仏像にも見られます。子安地蔵の周囲にある石の祭壇は後から設置されたもので、その横には小さな地蔵が並んでいます。

子安地蔵の前の道はかつて山城国と近江国（現在の京都府と滋賀県）を結ぶ道の一部で、旅の途中で多くの旅人がこの子安地蔵に祈願したのでしょう。子安地蔵のご利益を聞きつけた近隣の人々も参拝に訪れました。

8 月 24 日の地蔵盆には地蔵の前で小さな儀式が行われます。

アクセス

和束長井バス停から徒歩約 20 分。緑の柵に囲まれている水槽と銀色の日本語の道標が目印です。